



文 部 科 学 省

文教関係予算・施策の概要

平成16年度の文部科学省予算案は、総額6兆0、599億円で、対前年度予算に比べ2、620億円、4・1%の減となった。概要は次のとおりである。

一、学校、地域、家庭における子どもの育成支援

義務教育費国庫負担金（養護を含む）が、9・9%減の2兆5、128億円が計上された。

平成13年度から5年計画で策定された「第七次公立義務教育諸学校教職員定数改善計画」の4年次分として、5、380人の改善は計画通りに行われたが、児童生徒数の減少に伴う自然減4、400人や定数配置の見直し等の合理化措置により、既存定数の中で980人の削減となった。

また、小・中学校等の校舎の耐震化への取り組みが遅れている状況から重点的に推進するために、対前年度予算に比べ3億円増の1、080億円が計上された。

主な新規事業として、地域の人材を有効に活用し、児童生徒へのきめ細かな指導を実現するための「学力向上支援事業」、問題行動を起こす児童生徒一人一人に対応した、学校、教育委員会等、地域支援システムづくりや、学校復帰、立ち直りに向けた支援の場の在り方について調査研究を行う「問題行動に対する地域における行動連携推進事業」、小学校段階で不登校や問題行動等の未

然防止・早期発見・早期対応を保護者との連携の下に推進する「子どもと親の相談員の配置」、一定規模の学校等に子どもの活動拠点を設け、地域の大人の教育力を結集して、放課後や週末に小・中学生を対象にスポーツや文化活動等を実施するための「地域子ども教室推進事業」、地域の実情に応じ定量的な数値目標を設定し、その目標を上回ることを目指して運動に親しむ動機付け等の実践活動を行い、子どもの体力向上や望ましい生活習慣の形成を図る「子どもの体力向上実践事業」等が創設された。

また、既存事業の拡充として、適応指導教室指導員の研修、家庭への訪問、学校の教員の研修など不登校の中核的機能の充実や地域ぐるみのサポートシステムの整備が図られた。

また、スクールカウンセラー活用事業補助として、前年度比1、500校増の8、500校にスクールカウンセラーが配置されることになった。

二、スポーツ振興基本計画の推進

子どもから大人まで誰もが身近にスポーツに親しむことのできる生涯スポーツ社会の実現に向け、日常的にスポーツを行う場となる総合型地域スポーツクラブの全国展開を推進する「総合型地域スポーツクラブ育成推進事業」が新しく創設された。

季節の俳句カレンダー

早梅に歩みよりゆく影法師

星野立子

「早梅」は文字どおり早咲きの梅で、晩冬の季語。「早梅」という種類があるわけではない。気候風土の差で早咲きの地方もあれば、暖冬気味の年には北の地方でも早く咲くことがある。初ものは目につきやすく印象に残るので、季語にもなっているものと思われる。

公園の散歩途中か道路の垣根越しにか、思いがけなく梅の開花をみつけた人が、木に近寄ってしげしげと見入っているようすが鮮やかに詠まれている。「影法師」と間接的に表現した点がいかにも、俳句らしく余韻を漂わせている。どこか月夜の人影のようでもある。

さざ波は立春の譜をひるげたら

渡辺水巴

季語はもちろぬ立春。ことしの立春は二月四日。毎年のことながら「暦の上では春ですが……」と、残る寒さを意識したあいさつが交わされる。年賀を「初春のあいさつ」というのと同様に、二十四節気と新旧の暦の関係はややこしい。とはいえやはり春は春。「立春」と聞くだけではどかな気分になるから不思議だ。

「さざ波」にも春の雰囲気があり、大きな川が、あるいは湖の光景が、そよ風を受けて水面に立つさざ波の広がるようすを、「立春の譜をひるげ」と巧みに表現している。

政 策

文部科学省関係予算

事 項	平成15年度予算額	平成16年度予算額	比較増 減額	備 考
	百万円	百万円	百万円	
一 般 会 計	6,322,012	6,059,925	262,087	4.1%減

〔1〕学校、地域、家庭における子どもの育成支援

(単位：百万円)

事 項	平成15年度 予 算 額	平成16年度 予 算 額	比 較 増 減 額	備 考
(1)「確かな学力の向上」と「豊かな心」を育てる学校教育等の確立				
確かな学力の向上				
義務教育費国庫負担制度による優れた教員の確保と配置	2,787,864	2,512,846	275,018	第7次公立義務教育諸学校教職員定数改善計画の推進 平成13年度からスタートした改善計画(平成13～17年度までの5年計画)の4年次分として5,380人の改善。 (児童生徒数の減少に伴う自然減 4,400人、定数配置の見直しによる合理化措置 980人) ・改善内容：教科等に応じ、20人程度の少人数指導や習熟度別指導を実施。 ・義務教育費国庫負担制度の堅持。
学力向上アクションプランの推進	3,943	4,352	409	概要：以下の施策の一体的な推進により、新しい学習指導要領の下での優れた取り組みの普及やその成果の周知に努め新教育課程のねらいを着実に実現するとともに、公教育の質を格段に向上させる。 個に応じた指導の充実のため、 学力向上支援事業(新規) 47地域 学力向上フロンティア推進事業 47地域 などの実施 学力の質を向上させるため、 「総合的な学習の時間」推進事業 10地域 理科大好きスクール 20地域 などの実施 個性・能力の伸長のため、 スーパーサイエンスハイスクール(拡充) 45校 60校 などの実施 英語力・国語力の増進のため、 「英語が使える日本人」の育成のための行動計画 などの実施 ・スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール(拡充) 50校 85校

政 策

事 項	平成15年度 予 算 額	平成16年度 予 算 額	比 較 増 減 増 額	備 考
豊かな心の育成 道徳教育の推進と奉仕・体 験活動の充実	2,301	2,227	74	<p>道徳教育の推進 概要：豊かな心を育成する観点から、道徳教育の推進を図る。 道徳教育の充実のための教員養成学部等との連携研究事業（新規） 児童生徒の心に響く道徳教育推進事業等 奉仕・体験活動の充実</p> <p>概要：青少年の社会性や豊かな人間性を育むため、成長段階に応じ、学校内外を通じて奉仕・体験活動や自然体験活動等の多様な体験活動の機会の充実を図る。 地域と学校が連携協力した奉仕活動・体験活動推進事業（全国1,700市町村にセンターを設置） 豊かな体験活動推進事業 ・体験活動推進地域 47地域 ・地域間交流推進地域 47地域 ・長期宿泊体験推進地域（新規） 47地域 青少年の「社会性」を育むための体験活動総合推進事業 青少年交流推進事業（拡充） などの実施</p>
子どもの読書活動の推進	453	607	154	<p>概要：「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づく政府の「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を踏まえ、子どもが自主的に読書活動を行うことができるよう、環境の整備を図るとともに、施策の総合的かつ計画的な推進を図る。 全国子ども読書活動推進キャンペーンの実施 学校図書館資源共有ネットワーク推進事業の実施（新規）</p>
(2)家庭、地域、学校が一体となった「子どもの居場所」づくり ～子どもの居場所づくり新プラン～ 地域子ども教室推進事業	0	7,000	7,000	<p>概要：一定規模の学校等に子どもの活動拠点を設け、地域の大人の教育力を結集して、放課後や週末に全ての小中学生を対象にスポーツや文化活動などを実施するために必要な経費。</p>

政 策

事 項	平成15年度 予 算 額	平成16年度 予 算 額	比 較 増 減 増 額	備 考
家庭教育支援の充実 家庭教育に関する相談体制 の充実と学習機会の提供等 【少子化対策の施策】	1,079	1,108	29	概要：家庭教育支援の充実を図るため、子育てサポーターの資質向上を図るリーダーの養成、親等に対する様々な機会を活用した家庭教育に関する学習機会の提供等を推進する。 家庭教育支援総合推進事業 272団体 子育てサポーターの資質向上を図るリーダー養成等家庭教育推進事業の実施 ・多様な機会を活用した家庭教育に関する学習機会の提供 ・父親の家庭教育参加を考える集いの実施 全国家庭教育フォーラムの開催（新規） ・家庭教育について全国的に考え、行動する機運をかめるため、全国2地域で家庭教育に関するフォーラムを実施 幼稚園における預かり保育の充実 【国・地方合わせて100億円】 概要：平成15年度税制改正における「配偶者特別控除の廃止」に関連した「少子化対策の施策」として、待機児童ゼロ作戦の一層の推進や次世代育成支援を図るため、幼稚園の預かり保育を活用した子育て支援の取り組みを推進する。 ・預かり保育の機会の充実 【国・地方合わせて50億円（国補助分25億円）】 ・預かり保育機能強化（「親と子の育ちの場」緊急整備） 【50億円（地方単独事業）】
問題行動、不登校への対応 自立支援のサポートチーム 等システムづくり	0	529	529	概要：問題行動を起こす児童生徒一人一人に対応した、学校、教育委員会、関係機関からなるサポートチーム等、地域の支援システムづくりを行うとともに、「遊び・非行型」の不登校や問題行動を起こす児童生徒のための、学校復帰や立ち直りに向けた支援の場の在り方について調査研究を行う。 問題行動に対する地域における行動連携推進事業（新規） ・サポートチーム等地域支援システムづくり 47地域 ・自立支援教室の設置 47地域
不登校児童生徒への通学支援体制づくり	850	838	12	概要：適応指導教室指導員の研修、家庭への訪問、学校の教員の研修など不登校の中核的機能の充実や、地域ぐるみのサポートシステムの整備を行う。 スクーリング・サポート・ネットワーク整備事業（SSN） ・地域スクーリングサポートセンター 400ヶ所 450ヶ所

政 策

事 項	平成15年度 予 算 額	平成16年度 予 算 額	比 較 増 減	備 考
問題を抱える青少年のための 継続的活動の場づくり	0	81	81	概要：非行等の問題を抱える青少年の立ち直りの支援策として、地域の活動団体等と連携・協力し、社会奉仕活動や体験活動、スポーツ活動などを行うことができる継続的活動の場（居場所）を構築する。 ・問題を抱える青少年のための継続的活動の場づくり事業（新規）
教育相談体制の充実	3,994	4,600	606	概要：スクールカウンセラーの計画的な整備を図るとともに、小学校段階で不登校や問題行動などの未然防止・早期発見・早期対応を保護者との連携の下に推進する「子どもと親の相談員の配置」を、新たに実施する。 ・スクールカウンセラー活用事業補助（拡充） 7,000校 8,500校 ・子どもと親の相談員の配置（新規） 940校
(3)子どもの健やかな体の育成 子どもの体力向上のための総合的な方策の展開	1,912	2,116	204	概要：子どもの体力向上のための総合的な方策を実施する。 子どもの体力向上実践事業（新規） 体力向上キャンペーンの展開 スポーツ・健康手帳の作成・配布等 部活動わくわくプラン21 などの実施
食生活に関する教育の充実	329	379	50	概要：朝食欠食、偏った栄養摂取、肥満傾向の増加などにより将来の生活習慣病の増大が懸念されるなどの食に起因する様々な問題に対応するため、以下の施策の一体的な推進により、食生活に関する教育の充実を図る。 食生活に関する教育研究事業 食生活学習教材の作成 地場産物を活用した事例集の作成（新規） 学校を中心とした食育推進事業（新規）
(4)安全・安心な学校づくり 公立学校施設の耐震化の推進等 (うち耐震関連経費)	145,245 (107,739)	131,104 (108,069)	14,141 (330)	概要：公立学校施設は、児童生徒の学習・生活の場であるとともに、非常災害時の応急避難場所ともなることから安全性の確保が重要。しかしながら、公立学校施設の耐震化の現状は以下のとおりであり、公立学校施設の耐震化を図るためには、地方自治体の施設整備計画に対応した予算の確保が必要。 ・公立小中学校施設の約7割が、建築物の耐震基準が改定された昭和56年以前に建築 ・公立小中学校施設全13万棟のうち、耐震性が確保されている建物は約6万棟(46.6%)のみ(昭和56年以前に建築された建物の耐震化率は18.3%) ・他の公共施設に比べ耐震化への取り組みが遅れている状況(診療所は58.5%)

政 策

事 項	平成15年度 予 算 額	平成16年度 予 算 額	比 較 増 減 増 額	備 考
学校安全及び心のケアの充実	395	454	59	<p>概要：学校の管理下での事件・事故等が大きな問題となっており、安全で安心できる学校の確立を目指し、学校安全及び心のケアに総合的に取り組む「子ども安心プロジェクト」を引き続き実施する。</p> <p>防犯教室の推進 防犯教育指導者用参考資料の作成（新規） 地域ぐるみの学校安全推進モデル事業 学校・地域保健連携推進事業（新規） 学校施設の安全対策推進事業</p>

〔2〕スポーツ振興基本計画の推進

(単位：百万円)

事 項	平成15年度 予 算 額	平成16年度 予 算 額	比 較 増 減 増 額	備 考
(1)生涯スポーツ社会の実現	1,041	1,668	627	<p>概要：国民の誰もが身近にスポーツに親しむことのできる生涯スポーツ社会の実現に向け、日常的にスポーツを行う場となる総合型地域スポーツクラブの全国展開を推進するなどスポーツ環境の整備を計画的に推進する。</p> <p>・総合型地域スポーツクラブ育成推進事業（新規）などの実施</p>
(2)世界で活躍するトップレベルの競技者の育成	2,723	6,946	4,223	<p>概要：オリンピックにおけるメダル獲得率の倍増を図るため、選手強化活動を充実し、重点的な強化対策を講じる。</p> <p>ナショナルトレーニングセンターの整備の推進 オリンピック選手団派遣事業 重点競技強化事業、トップリーグ支援事業 等</p>